

# 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

会社名 : マックス株式会社  
住所 : 群馬県佐波郡玉村町川井 1848  
部署 : 環境・品質保証部 環境企画推進 SEC  
電話番号 : 0270-65-1381  
FAX 番号 : 0270-65-1043  
作成日 : 2011年7月12日

製品名 (商品名) NR-20アイ (製品コード: NR90247)

---

## 2. 組成, 成分情報:

単一製品・混合物の区別: 混合物

成分・組成:

(機密扱い分に関しては非公開)

成分名	含有量%
$\beta$ ・銅フタロシアニン系顔料 + 変性ロジンエステル	15~25%
C. I. Pigment Blue 15:3	
化審法番号: (5)-3299 + (7)-950	
CAS No. : 147-14-8 + 68475-37-6	
組成: 30~40% + 60~70%	

危険有害性成分:

*国連関連 : 労働安全衛生法	成分名 : 銅及びその化合物
	含有量 : 約 3.5% (金属銅として)
*EC 関連 : 67/548/EEC	含有しない

植物油 20~30 %

化学名: 脂肪酸トリグリセライド

官報公示整理番号: (化審法, 安衛法) 天然物のため該当せず

高級アルコール 8~10%

化学名: ヘキシルデカノール

化審法番号: 2-217

安衛法 既存

CAS No.: 2425-77-6

TSCA : 収載されていない

国連分類 : 国連の分類基準に該当しない

潤滑油

40～50 %

化学名：流動パラフィン  
化学式又構造式：特定できない  
CAS No.： 8042-47-5  
官報公示整理番号：(9)-1692  
PRTR 法：成分に該当物質含まない

---

### 3. 危険有害性の要約

分類の名称：分類基準に該当しない  
危険性：可燃性があるので火気には注意する  
有害性：通常の取扱いでは、有害性は低い  
環境影響：現在迄のところ有用な情報無し  
危険有害性情報：飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

---

4. 応急処置 吸入した場合：新鮮な空気のところへ移し、鼻をかみ、うがいをさせる、必要により医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：石鹼水で十分洗い落とし、汚れ落ちが悪い場合には、クレンジングクリームを塗り、やわらかい布で拭き取る。

目に入った場合：清浄な水で約 15 分間丁寧に洗い、医師の診察を受ける。  
(文献 1)

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、すみやかに医師の診察を受ける。  
口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。  
(文献 2)

---

### [火災時の措置]

消化剤：霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消化剤が有効である。  
使ってはならない消化剤：消火に棒状の水を用いてはならない。

消火方法：火元への燃焼源を断つ。

初期の火災には、粉末、炭酸ガス消化剤を用いる。

大規模火災の際には、泡消火器を用いて空気を遮断することが

有効である。注水は、火災を拡大し危険な場合がある。

周囲の設備などに散水して冷却する。

火災作業の際には、風上から行い必ず保護具を着用する。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

---

[漏出時の措置]

周囲の着火源を取り除く。

1. 大量の場合：漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。作業の際には必ず防護服を着用する。漏洩した液は土砂などでその流れをとめ、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収する。河川、下水同等に排出されないように注意する。
2. 少量の場合：土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエスで拭き取る。
3. 海上の場合：オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸取る。薬剤を用いる場合には運輸省令で定める技術上の基準に適合したもので無ければ成らない。

---

[取扱い及び保管上の注意]

- 取扱い：
1. 指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。
  2. 炎、火花または高温体との接触をさけるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。
  3. 常温で取り扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意すること。
  4. 石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため換気及び火気などへの注意が必要である。
  5. 飲まないで下さい。
  6. 皮膚にふれたり、眼に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。
  7. 皮膚接触後は手をよく洗う
  8. 容器は必ずふたをすること。

- 保管：
1. 品質劣化防止のため、直射日光を避けできれば冷暗所保管が、望ましい
  2. 容器を破損しないように注意する。
  3. 熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。
  4. 102C付近からポリプロピレン製容器が軟化しますのでそれ以上と成る所には保管しないこと。
  5. ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場

所での保管を避ける。

---

[暴露防止及保護措置]

管理濃度：規定なし。

(作業環境評価基準：構成労働省告示第 79 号別表)

設備対策：喚起設備は一般的な自然換気でよい。

保護具 呼吸用保護具：通常では特に必要としない。  
保護眼鏡：通常では特に必要としない。  
保護手袋：通常では特に必要としない。  
使用するとすれば耐油性ゴム手袋。  
保護衣：通常では特に必要としない。  
衛生対策：作業中は飲食、喫煙はしない。  
飲食、喫煙前には石鹼で手を洗う。

---

[物理的及化学的性質]

外観 臭気 等：黒色 粘性液体 油臭  
揮発性：常温では殆どなし  
比重又は嵩比重：0.90～0.99  
溶解度 水：不溶

---

[安定性及び反応性]

引火点：130℃以上  
発火点：測定データ無し  
発火性（自然発火性、水との反応性）：無し  
酸化性：直射日光、熱のある所での保管は避ける。  
自己反応性：無し  
安定性・反応性：空気と接触して徐々に酸化する。

---

[有害性情報] (人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性：無し  
刺激性(皮膚・眼)：長期又は繰り返し接触する場合刺激性ある恐れあり。  
感作性：データ無し  
急性毒性(50% 致死量等を含む)：  
経口 ラット LD<sub>50</sub>：5000mg/kg 以上

亜急性毒性：データ無し

慢性毒性：データ無し

生殖毒性：データ無し

催奇形性：データ無し

呼吸毒性：データ無し

その他（水と反応して有毒なガスを発生する等を含む）：データ無し

がん原性：

◆使用している潤滑油については

OSHAによる評価：

高度精製油は IARC では、グループ 3 に分類。（ヒトに対して発がん性について分類できない）に該当する。流動パラフィンは高度精製油より精製度が高い物質である。

よって発がん性、区分外に分類される。

（文献 5）

EUによる評価：

発がん性物質としての分類は適用される必要はない。

（文献 6）

飲むと下痢、嘔吐する可能性がある。

---

[環境影響情報]

分解性：知見なし

蓄積性：現在のところ有用なデータ無し

魚毒性：

---

[廃棄上の注意]

産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、廃油（可燃性）であることを明記し、そこに委託して処理する。

---

[輸送上の注意]

容器に漏れのないことを確かめ転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

---

[適用法令]

薬事法（化粧品品質基準、化粧品原料基準）

消防法：危険物 第四類 第三石油類

水質汚濁防止法：油分排出規制（5 mg/l）

海洋汚染防止法：油分排出規制（原則禁止）

下水道法：鉱油類排出規制（5 mg/l）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

国連関連法令： 安衛法「有害性通知対象物質」No. 378＝銅及びその化合物

EC 関連法令： 該当しない

---

[その他の情報]

有機塩素： 含有しない

銅： 約 3.5% (金属として) (顔料成分として)

そ の 他	<p>(記載内容の問い合わせ先, 引用文献等)</p> <p>引用文献：潤滑油関係</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. ANSI Z 129.1-1994 American National Standards Institute. (米国規格協会)</li><li>2. 新・絵で見る中毒110番 (保険同人社)</li><li>5. IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33</li><li>6. EC 理事会指令67/548/EECの付属書I 危険な物質リスト</li></ol>
-------	---

- \* 製品安全データシートは、本製品の原材料の製品安全データシート等に基づいて作成いたしました。必要な参考文献も引用させて頂きました。
- \* 本『製品安全データシート』は、本製品を適切にご使用して戴くために、必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常的な取扱いを対象としたものです。
- \* 本品の使用方法については、『製品安全データシート』を参考の上、使用者の責任においてお決め下さい。
- \* ここに記載された内容は情報の完全さを保証するものではありません。また、内容は法令の改正及び新しい知見に基づき改定されることがあります。
- \* 記載内容のうち、成分及び含有量、物理化学的性質などの値は、品質保証値ではありません。
- \* 本『製品安全データシート』に記載されている内容は、情報提供であっていかなる保証をするものでもありません。

記載内容の問い合わせ先： 電話 047-376-1411 山城敏壯